

# 柏市の下水道事業の 目標達成に向けた事業展開



下水道公式キャラクター  
蓮子（れんこ）ちゃん

令和2年2月14日  
柏市土木部下水道経営課

# 目次

1. 審議内容
2. 目標達成に向けた事業展開
3. 収支見込

# 1. 審議内容（1）計画の構成

## 柏市下水道中長期経営計画の構成

赤字：第22回委員会の内容

構成	概要	備考
I 現状と課題	柏市下水道の経営面、事業面の課題を抽出する	
II 経営の基本方針 1 経営理念と基本方針 2 事業展開の方向性	経営理念、基本方針を示すとともに、「汚水対策」、「雨水対策」、「経営基盤の強化」などの施策について事業展開の方向性を示す	第20回委員会
III 目標	経営、事業、市民サービスなどの目標を指標を用いて設定する	第22回委員会
IV 目標達成に向けた事業展開	環境、安全、持続の施策ごとに具体的な事業内容、スケジュールを示す	第22回委員会
V 計画期間中の収支見通し	財政シミュレーションによる、計画期間内の収支の見通しを示す。	第23回委員会
VI 計画の進行管理	計画の進行管理の方法（PDCA）を示す	

# 1. 審議内容（2） 審議事項

赤字：第22回委員会の審議事項

## ■ 全般

- ・ 中長期経営計画の構成及び内容の確認

## ■ 現状と課題

- ・ 抽出する課題・進め方の妥当性（不足がないかなど）

## ■ 経営の基本方針

- ・ 現状の課題を踏まえた経営理念，基本方針の妥当性

## ■ 目標

- ・ 目標の妥当性（指標が適切か，分かりやすいかなど）

## ■ 目標達成に向けた事業展開

- ・ 事業内容の妥当性や、下水道サービス向上に向けた方策の妥当性

## ■ 計画期間中の収支見通し

- ・ 目標，事業量，使用料収入などの妥当性
- ・ 使用料の検討内容

## ■ 計画の進行管理

- ・ P D C Aサイクルの妥当性

## 2. 目標達成に向けた事業展開（1）施策体系

施策の分類	具体的施策	緊急性
環境	汚水対策	未普及地区の解消 <del>◎</del> ○
		北部区画整理事業の整備 ◎
	環境の保全	手賀沼の汚濁負荷軽減 ○
		創エネルギー ○
安心	雨水(浸水)対策	ハードの整備 ◎
		ソフトの整備 済
	地震対策	下水道施設の地震対策 ◎
		下水道BCPの継続 <del>◎</del> ○
持続	下水道施設の老朽化対策	ストックマネジメント手法の継続 ◎
		篠籠田貯留場の改修 ◎
		GIS台帳システムの運用 ◎
	経営の健全化	経営計画の適正管理 <del>済</del> ○
		経費の削減、使用料収入の適正化 ◎
		技術力の維持 ○
	市民との協働	指標による事業評価 ◎
		広報の充実 ◎
		環境教育の場づくり ○

緊急性：◎は後期5箇年で重点的に取り組む施策

## 2. 目標達成に向けた事業展開（2）各施策

環境

○汚水対策

国からの補助金が終了する可能性あり

概成

### (1) 未普及地区の解消

市街化区域内の未普及地区において、地元の要望がある区域を**中心**に投資効果を考慮して整備します。

### (2) 北部区画整理事業の整備

区画整理事業の進捗に併せて順次整備を進めます。

具体的施策	指標	現況 (H30年度)	前期目標 (R2年度まで)	後期目標 (R7年度まで)
未普及地区の 解消	下水道処理人口普及率	90.3%	<del>93%</del> 91%	<del>94%</del> 92%
北部区画整理 事業の整備	北部区画整理事業の整備率	61.9%	<del>89%</del> 65%	<del>100%</del> 73%
5年間の事業費（億円）			31.54	<del>25.65</del> 25.11

## 環境

### ○環境の保全

#### (1) 手賀沼の汚濁負荷軽減（合流式下水道の分流化）

柏駅周辺の合流区域と隣接する区域に雨水管を整備することで、合流区域外から区域内に流れ込む雨水を減少させるなど、合流管に流れ込む雨水を減らし、大堀川への越流を減少させることで、手賀沼の汚濁負荷を軽減します。

#### (2) 省エネルギー・創エネルギー

下水熱利用の可能性について、「ポテンシャルマップ」を作成・検討し、それを基に下水熱の具体的利用を検討していきます。

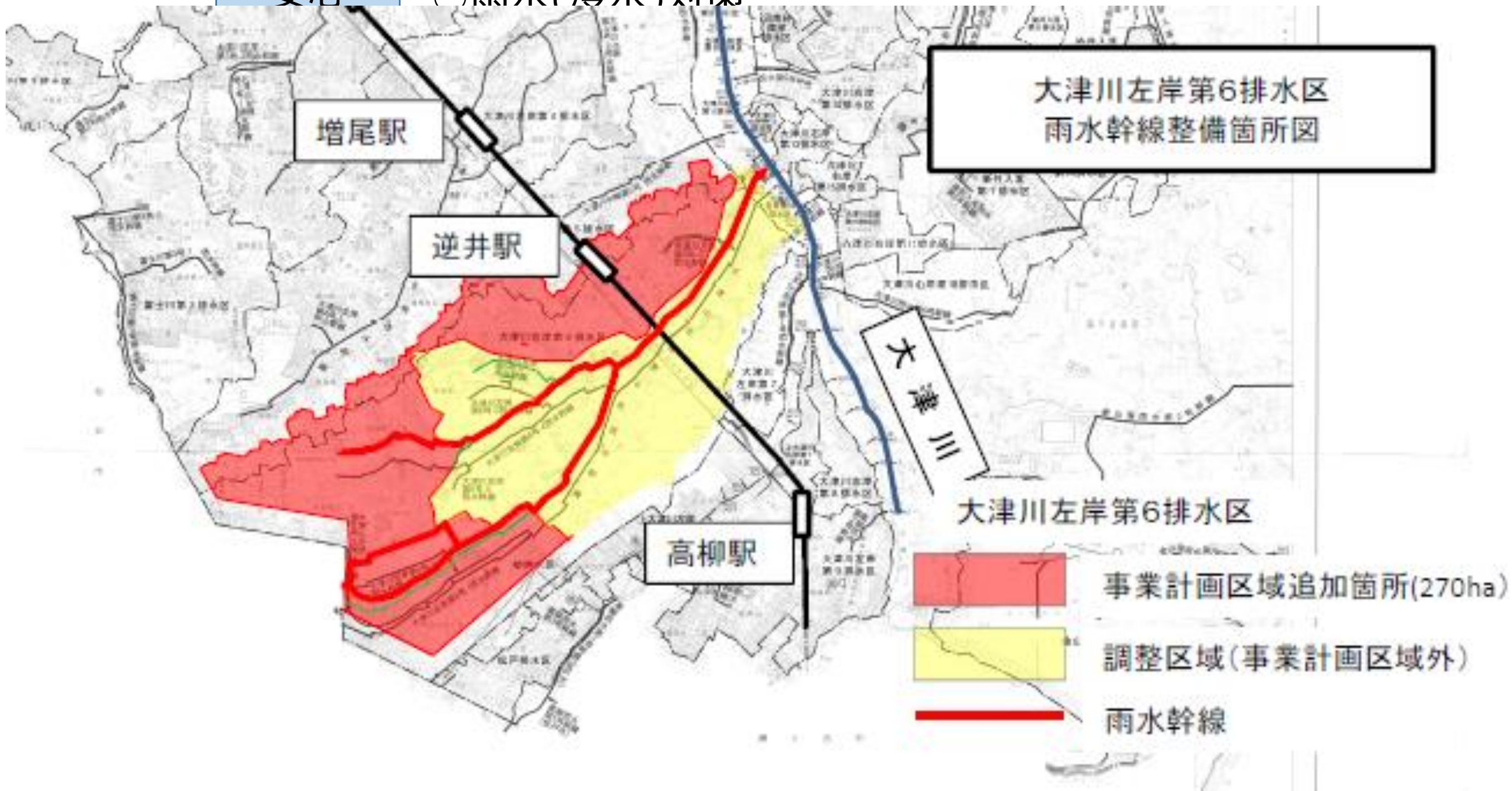
具体的施策	指標	現況 (H30年度)	前期目標 (R2年度まで)	後期目標 (R7年度まで)
手賀沼の汚濁負荷軽減	合流式下水道の改善率 (分流化)	21%	<del>25%</del> 21%	<del>44%</del> 26%
創エネルギー	下水熱利用の実施	未実施	<del>導入可能性検討 先進事例研究</del>	<del>実施検討 導入可能性検討</del>
5年間の事業費（億円）			3.00 (31.13)	<del>15.00</del> 4.15

注) ( ) は雨水対策として別途計上している対策費用を示す。



安心

○雨水(湧水)対策





## (1) 下水道施設の地震対策

「地域防災計画」や「下水道総合地震対策」に基づいて、効果的かつ効率的に下水道施設の耐震化や災害時用トイレ（マンホールトイレ）の整備を進めます。

## (2) 下水道BCP（業務継続計画）の継続

平成27年度に策定した下水道BCPを職員に周知させるとともに、この計画に基づく訓練や、適宜見直しを行い、被災時の対応力の向上に努めます。

具体的施策	指標	現況 (H30年度)	前期目標 (R2年度まで)	後期目標 (R7年度まで)
下水道施設の 地震対策	下水道総合地震対策計画の策定・耐震対策等の実施	策定済	策定・一部実施	実施
5年間の事業費（億円）			1. 10	<del>6. 00</del> 7. 00

(1) スtockマネジメント手法の継続

平成27年度に策定したStockマネジメント計画に基づき、平成30年度から開始した包括的民間委託を活用して適切な維持管理（調査・点検）や改築（更新・長寿命化）、進捗管理を行うとともに、計画の見直しも検討します。

調査・点検は、布設後35年以上経過した管渠（約560km）を第一期の調査対象とし、概ね10年程度で完了することを目指します。また、管路内調査の結果を踏まえて、目標を設定し、適切な下水管路の改築（更新や長寿命化対策）を実施していきます。

具体的施策	指標	現況 (H30年度)	前期目標 (R2年度まで)	後期目標 (R7年度まで)
Stockマネジメント手法の継続	Stockマネジメント手法の策定	策定済	策定 (評価・見直し)	策定 (評価・見直し)
	老朽管調査率	14.1%	56%	100%
	管渠の健全率 包括1期・2期	-	<del>34.5%</del> 75%・-	<del>37.6%</del> 100%・75%
5年間の事業費（億円）	包括による改修率		26.90	56.10

## ○下水道施設の老朽化対策

### (2) 篠籠田貯留場の改修

篠籠田貯留場のポンプ施設について、老朽化対策を行います。

### (3) 下水道台帳システムの運用

管路内調査の結果などを台帳システムに保存し、ストックマネジメントの効率的運用を目指します。また、関連した部署とデータを共有できるシステムを構築していきます。

具体的施策	指標	現況 (H30年度)	前期目標 (R2年度まで)	後期目標 (R7年度まで)
篠籠田貯留場の改修	篠籠田貯留場ポンプ 施設改修	—	—	改修済
下水道台帳システムの 運用	下水道台帳システム の運用	一部運用※	運用	——実施—— 共有システム構築済
5年間の事業費（億円）			0.15	<del>0.10</del> 26.10

※苦情情報の活用として一部運用。

## 持続

### ○経営の健全化

#### (1) 経営計画の適正管理

下水道事業を将来にわたって安定的に継続するため、平成27年度に策定した「中長期経営計画」に沿って、経営の健全化に努めていきます。また、経営計画は、関連計画も注視しつつ、適宜継続的に見直します。

具体的施策	指標	現況 (H30年度)	前期目標 (R2年度まで)	後期目標 (R7年度まで)
経営計画の 適正管理	経営計画の策定	第1期前期策定済	—実施— 第1期後期策定	—実施— 第2期前期策定
	経常収支比率 (%)	104.7	100.0	100.0
	企業債元利償還金対料金収入 比率 (%)	70.9	70.2	<del>50.4</del> 56.5

## 持続

### ○経営の健全化

#### (2) 経費の削減、使用料収入の適正化

中長期経営計画の見直しに合わせて、使用料の見直しを検討します。また、水道部と組織統合を踏まえ、経費の合理化とサービスの向上を目指します。

#### (3) 技術力の維持

下水道職員の技術力や事業者への指導力を維持・向上させるため、専任職員制度や外部講習会を活用するとともに、民間の力も活用した技術力の維持に努めます。

具体的施策	指標	現況 (H30年度)	前期目標 (R2年度まで)	後期目標 (R7年度まで)
経費の削減、 使用料収入の 適正化	汚水処理原価 (円/m <sup>3</sup> )	1 5 4 . 5	<del>1 3 8 . 5</del> 1 4 7 . 6	<del>1 3 7 . 0</del> 1 4 7 . 6
	使用料単価 (円/m <sup>3</sup> )	1 4 7 . 6	<del>1 4 7 . 5</del> 1 4 7 . 6	<del>1 4 7 . 5</del> 1 4 7 . 6
	経費回収率 (%)	9 5 . 6	<del>1 0 6 . 5</del> 1 0 0 . 0	<del>1 0 7 . 7</del> 1 0 0 . 0
技術力の維持	1人あたり外部講習会等への参加回数	1 回以上	1 回以上	1 回以上

## 持続

### ○市民との協働

#### (1) 指標による事業評価

事業の目標を経営指標などにより数値化し、経営委員会で事業評価を実施し、公表します。

#### (2) 広報の充実

広報の内容や手段を充実させ、広報紙やホームページ、イベント等を通じた広報活動を行います。

#### (3) 環境教育の場づくり

市民の環境教育に資する工事見学会や小学校への出前授業等を実施します。

具体的施策	指標	現況 (H30年度)	前期目標 (R2年度まで)	後期目標 (R7年度まで)
指標による事業評価	経営委員会による 指標による事業評価	実施	実施	実施
広報の充実	広報活動の回数	1回	2回	<del>2回</del> 3回
環境教育の場づくり	工事見学会等の実施	実施	実施	実施

# 3. 収支見込

※一般会計からの繰入金総額 27 億円が継続されるものと仮定して、下水道事業会計全体を試算

(単位：億円，税抜)

収益的収支	H30決算	R7見込
収益的収入	94.57	100.15
営業収益	62.93	65.23
うち他会計補助金	7.67	7.44
営業外収益	31.64	34.92
うち長期前受金戻入	25.33	26.24
うち他会計補助金 (うち基準外)	6.29 (4.15)	8.68 (6.74)
収益的支出等	90.30	98.58
営業費用	82.01	93.15
うち減価償却費	46.39	50.57
営業外費用	8.27	5.43
特別損失等	0.02	0.00
収支差引	4.27	1.57
※ 減価償却費－長期前受金戻入	21.06	24.33

使用料・他会計補助金の増

流域下水道維持管理費負担金・減価償却費の増

企業債利息の減

(単位：億円，税込)

資本的収支	H30決算	R7見込
資本的収入	33.46	37.06
企業債	14.88	20.44
他会計出資金 (うち基準外)	13.04 (11.71)	10.87 (9.87)
国庫補助金	1.38	4.45
負担金等	4.16	1.31
資本的支出	56.30	59.61
建設改良費	23.03	29.65
固定資産購入費	2.03	2.00
企業債償還金	31.24	27.96
長期貸付金等	0.01	0.00
収支差引	△22.84	△22.55

他会計出資金(基準外)減の可能性あり

一部補助金の終了

※資料中、端数処理により合計が一致しない場合があります。